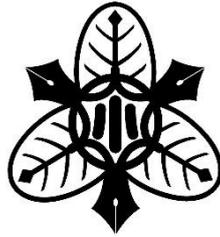


学校だより



学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和6年4月30日 第1号

文責： 校長 井 正成

令和6年度がスタートして1か月

本年度から、すべての学年でのクラス分けを実施し、新しい友達や担任との出会いに期待や不安がいっぱいでスタートから1か月が過ぎました。ご家庭での子供たちの様子はいかがでしょうか。

また、年度初めの家庭訪問や授業参観・学級懇談会については大変お世話になりました。子供たちの成長のためには、学校と家庭が密に連携を取り合い、同じ方向に向かって協力して子供たちの教育に当たっていくことが大変重要です。担任との連携をしっかりと図っていただくと共に、授業参観や学校公開日などの機会に積極的に学校においでいただき、子供たちが学校生活で見せる姿を是非見ていただくようお願いいたします。

子供たちのことで気になる点がありましたら、担任まで遠慮なくお知らせください。子供たちの課題について、早期に気づき、対応することが大切になりますのでよろしくをお願いいたします。

今週末は4連休となります。年度初めの疲れた心と体を回復させる連休になればと思います。連休明けには運動会に向けての準備や練習も始まります。暑さも感じるようになり体力が必要な5月を元気に乗り越えることができるよう子供たちを見守っていただきますようお願いいたします。

交通安全について日々子供たちへの声掛けをお願いします

4月10日(水)に阿蘇地区交通安全や行政の方をお招きし、全学年を対象に交通教室を実施しました。低学年は道路の歩き方を、3年生以上は自転車の乗り方を中心に指導していただきました。交通安全については、家庭でも指導すべき重要な一つとして常に声掛けやご指導をお願いします。

自転車の乗車範囲については、次のように指導しています。

- 1, 2年生・・・自宅敷地内 3年生・・・地区内 4年生・・・旧校区内
- 5, 6年生・・・校区内

あくまでも目安として考えていただき、安全に乗れる範囲や道路については、家庭で話し合っ決めていただくようお願いいたします。また、ヘルメットを必ずかぶるようご指導ください。

なお、学校では「登校班」を編成しています。新一年生の保護者の皆様にとっては、登下校の安全は大きな心配事の一つかと思えます。高学年の児童が「登校班」の班長や副班長となっています。高学年の児童にとっては、下級生の安全を守るためにも、また、高学年としての自覚や責任感を持たせるためにも重要な役割です。大変な役割ではありますが、この役割を果たすことが今後の成長につながる大切な経験となります。うまくいかずに悩んだりすることも多々あるかと思えますが、家庭でも励ましていただくなど、ご指導よろしくをお願いいたします。

また、本校では、登下校時に黄色い帽子と安全ベストの着用するよう指導しています。特に安全ベストは前をとめて正しく着用するよう家庭でもお声掛けをお願いいたします。

本年度1年間、子供たちに交通事故が1件も起きないように、保護者の皆様のご協力とご指導をお願いいたします。

本年度の学校教育目標です

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって主体的に考え行動する子供の育成
～いい声、いい顔、いい行い、いい心があふれる学校に～

本校の校歌の歌詞に「世界の阿蘇に集いて学ぶ」とあります。この素晴らしい阿蘇の環境の中で学ぶことに誇りをもってほしいと思います。

現代社会は予測困難な時代であり、子供たちが生きる将来の世の中は、もっと予測困難な時代になっているかと思えます。予測できない事態に遭遇しても「どうすれば乗り越えることができるか」を自分で考え、行動できる人になってほしいと思います。

また、「言われたからする」「言われたことだけをする」という受け身の姿勢ではなく、学校教育、社会教育、家庭教育を通じて「今、どうすべきか」「どう行動すれば自分の力を伸ばせるのか」など、主体的に考え行動できる人になってほしいと思います。そのことが夢や目標に向かって努力できる姿につながっていくと考えます。

いい声・・・あいさつ、発表、周りの人への言葉など、いい声を発する子供であってほしい

いい顔・・・笑顔で登校し、笑顔で学校生活を送り、笑顔で下校する子供たちであってほしい

いい行い・・・ルールやマナー、決まりなどを守り、周りにいい影響を与える行動ができる子供であってほしい

いい心・・・いじめなどを絶対にせず、正しい人権感覚を身に付け、周りの人への気配りができる子供に育ってほしい

この4つの「いい」があふれる学校づくりに努めていきたいと思えます。

学校教育目標に込めた思いを、ぜひ家庭や地域で共有していただき、同じ方向を向いて子供たちを育てていきたいと考えています。1年後の子供たちが今の姿より大きく成長していることを想像しながら、がんばっていききたいと考えています。1年間どうぞよろしく願いいたします。